【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2000-85459(P2000-85459A)
【公開日】平成12年3月28日(2000.3.28)
【出願番号】特願平10-261953
【国際特許分類第７版】
　Ｂ６０Ｑ　1/115
　Ｆ２１Ｖ　14/00
【ＦＩ】
　Ｂ６０Ｑ　1/10　C
　Ｆ２１Ｍ　3/18

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月10日(2005.5.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　ヘッドライト光の光軸を車体の上下方向に傾動調整する光軸調整手段を有するヘッドライトの光軸自動調整装置において、
　車体の前後方向の傾斜角度を検出する重力センサと、
　この重力センサの計測値に基づいて上記車体の傾斜状態を算出し、この上記車体の傾斜状態により上記光軸調整手段を制御し、上記ヘッドライト光の照射方向を適正な状態に保持する制御手段とを備えたことを特徴とするヘッドライトの光軸自動調整装置。
【請求項２】
　ヘッドライト光の光軸を車体の上下方向に傾動調整する光軸調整手段を有するヘッドライトの光軸自動調整装置において、
　車体の前後方向の傾斜角度を検出する重力センサと、
　上記車体の停車中の傾斜角度の変化量に基づいて上記光軸調整手段を制御し、上記ヘッドライト光の照射方向を適正な状態に保持する制御手段とを備えたことを特徴とする請求項１記載のヘッドライトの光軸自動調整装置。
【請求項３】
　制御手段は、イグニッションスイッチのオフ時における車体の傾斜角度と、その後にイグニッションスイッチがオンされ車速信号が入力し始めた時の傾斜角度との差が予め定めた規定値以上になった場合に、上記車速信号が入力しはじめたときの傾斜角度に基づいて光軸調整を行うことを特徴とする請求項２記載のヘッドライトの光軸自動調整装置。
【請求項４】
　制御手段は、イグニッションスイッチのオフ時点より所定時間前の移動平均値をイグニッションスイッチのオフ時における車体傾斜角度とし、車速信号が入力し始めた時点より、所定時間前の車体傾斜角度に基づいて光軸調整を行うことを特徴とする請求項２記載のヘッドライトの光軸自動調整装置。
【請求項５】
　　制御手段は、イグニッションスイッチがオンで車速信号がない場合の車体の傾斜角度と現在の車体傾斜角度との差が、予め定めた規定値以上になった場合に、上記車速信号が入力し始めた時の傾斜角度に基づいて光軸調整を行うことを特徴とする請求項２記載の

ヘッドライトの光軸自動調整装置。

【請求項６】

制御手段は、イグニッションスイッチがオンで車速信号入力が停止してから所定時間後の車体の傾斜角度を上記車速信号入力が停止したときの車体傾斜角度とし、上記車速信号が入力し始めた時点より所定時間前の車体傾斜角度に基づいて光軸調整を行うことを特徴とする請求項２記載のヘッドライトの光軸自動調整装置。

【請求項７】

車速信号により停車と走行とを判断し、制御手段による、光軸調節手段の制御を切替えることを特徴とする請求項１乃至６のいずれか一項に記載のヘッドライトの光軸自動調整装置。